

事業概要【「沖縄県SDGs未来都市モデル事業」～地域課題解決型イノベーション創出を目指す

旧制度（推進）

「沖縄県SDGsステークホルダープラットフォーム（仮称）」の取組を通じた沖縄モデル形成～

申請者	沖縄県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	179,332千円 (30,666千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<p>・地域に点在する様々な資源やポテンシャルを有機的に繋げることで、地域課題を解決する仕組み（プラットフォーム）を形成し、新たなビジネスやイノベーションの創出を図る。</p> <p>・「脱炭素」や「SDGs」等に対応し、経済・社会・環境の統合的な課題解決を目指す企業・団体との連携促進を図り、沖縄の個性を活かした活力ある持続可能な社会を構築する。</p>		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>①おきなわSDGsプラットフォームによるニーズ・シーズのマッチング推進、スタートアップ等支援とのリレーション体制の自走化に向けた検証</p> <p>②地域課題の解決及びSDGs/ESG投資を促進する認証制度の創設・運営の拡充 (①②の合計)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有識者会議費 970千円、費用弁償 1410千円、 ・プラットフォーム運営（委託費） 28,266千円 ・需用費20千円 		<p style="text-align: center;">おきなわSDGs認証制度の全体像</p> <p>実績評価項目（第2号様式）</p> <p>【現在までの取組を評価】 過去～現時点までの取組状況を評価する観点。 設定された評価項目に関して、申請者のこれまでの活動実績が一定水準を満たすことが求められる。</p> <p>主要評価項目（第3号様式）</p> <p>【今後の取組を評価】 今後予定している取組を評価する観点。 申請者が今後2年の間に実施する活動・取組について、沖縄の社会課題解決やSDGs推進への寄与という観点から評価する。</p>
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①SDGsに取り組む県内企業等の登録・認証件数 (+600件)</p> <p>②おきなわSDGsプラットフォームにて創設されるプロジェクト数 (+9件)</p>		関連URL (おきなわSDGsプラットフォーム) https://www.pref.okinawa.jp/kensei/shisaku/1014182/1014186.html (効果検証) https://www.pref.okinawa.jp/kensei/shisaku/1014211/1014216/index.html

事業概要【沖縄県離島・過疎地域づくりDX促進事業】

旧制度（推進）

申請者	沖縄県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	127,769千円 (31,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン学習塾の環境構築を支援し、離島・過疎地域における学力の向上ができる教育環境の整備を図る。 ・高齢者等の見まもり体制構築を支援し、誰もが安心して暮らせる環境の整備を図る。 		
事業概要・ 主な経費	<p>○移住定住促進プロモーション等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2地域居住者等の誘致を図るための情報発信、モニターツアーの開催等（委託料）16,000千円 ○オンライン学習塾の環境構築支援 ※R7年度から市町村に実施主体を移行したため経費を計上せず。 ○高齢者等の見まもり体制構築支援 ・Wi-Fiセンシング技術を活用した高齢者等の見まもり体制の構築に取り組む事業者に対する支援（補助金）15,000千円 <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>		<p>県</p> <p>委託</p> <p>補助 ①オンライン塾支援(~R6) ②高齢者見まもり支援</p> <p>連携</p> <p>移住定住プロモーション ・情報発信 ・2地域居住者向け モニターツアー など</p> <p>民間事業者</p> <p>市町村等</p> <p>住民</p>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①離島・過疎地域における2地域居住者数 (+30人) ②移住に係る相談件数 (+90件) ③オンライン学習塾及び見まもりサービス利用者数 (+300人) <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的用途・実施体制)</p> <p>https://www.pref.okinawa.jp/kensei/shinko/1017087/1017093.html</p> <p>(効果検証)</p> <p>https://www.pref.okinawa.lg.jp/kensei/sHisaku/1014211/1014216/index.html</p>

事業概要【スタートアップ創業支援事業】

旧制度（推進）

申請者	沖縄県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	188,107千円（45,717千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・稼ぐ力の向上と地域産業の競争力強化 ・地域における新たなビジネスの創出 ・スタートアップの創出促進 		
事業概要・ 主な経費	<p>○スタートアップ創業相談窓口の設置・運営 スタートアップの創業促進のため、法人設立及び事業開始時に必要な各種申請等を支援する相談窓口を設置・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口の設置（委託料）28,717千円 <p>○スタートアップの成長に向けたアクセラレーションプログラムの実施 創業支援を活用する等により創業したスタートアップに対し、成長支援を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクセラレーションプログラムの実施（委託料）17,000千円 		
KPI	<ol style="list-style-type: none"> ①MVPの開発数（+25件） ②相談窓口における相談対応件数（+1,800件） ③アクセラレーションプログラム参加企業のうち、投資家やベンチャーキャピタルとのマッチング件数（+50件） ④スタートアップの創出数（+50件） 		<p>関連URL</p> <p>https://www.startups.okinawa/</p>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【外国人材受入支援事業】

旧制度（推進）

申請者	沖縄県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	54,598千円（17,699千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・人手不足が深刻化する中、企業への外国人材受入支援等を通して、外国人材が活躍できる環境整備を図る。 ・県内企業と県内留学生等とのマッチングイベントを実施することで、留学生等の県内就職及び定着を図る。 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>県内企業の外国人材受入にかかる取組を支援するため、相談窓口の設置、セミナー開催及び留学生とのマッチングイベントを開催する（委託料：17,699千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人材受入にかかる相談窓口を設置し、制度等の情報提供する（委託者人件費等6,369千円） ・外国人材受入にかかる企業向けセミナー、県内就職促進及び定着率向上のための留学生・外国人労働者向けセミナーを開催する（委託者人件費等5,613千円） ・県内企業と留学生とのマッチングイベントを開催する（委託者人件費等5,717千円） <pre> graph TD A[沖縄県] -- 委託 --> B[受託業者] B -- 支援 --> C[県内企業] B -- 支援 --> D[留学生等] C --- E[外国人雇用にかかる課題の解決 外国人材の雇用・定着] D --- F[希望する県内企業に就職・定着できる] </pre>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域へのUIターン数（+950人） ②本事業により新たに外国人材を雇用した企業数（+90社） ③相談対応件数（+600件） ④セミナー参加企業数（+270社） 	関連URL	<p>（交付金の具体的使途・実施体制） （効果検証）</p> <p>https://www.pref.okinawa.jp/kensei/shisaku/1014211/1014216/index.html</p>

事業概要【沖縄型イノベーション・エコシステム構築に向けたコーディネート等機能強化プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	沖縄県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	101,370千円 (36,200千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<p>・沖縄21世紀ビジョンゆがふしまづくり計画において、「世界に開かれた活力ある豊かな社会」を目指すため、産学官金の各主体が有機的に連携し絶え間なくイノベーションが創出されるイノベーション・エコシステムの構築を図ることとしている。</p> <p>・このため、県内大学等から輩出される研究成果を円滑に事業化へとつなげることを目的とし、県内において、産業動向や企業トレンド等を踏まえつつ、研究段階から技術移転までを一貫してサポートできるコーディネート機能の充実強化を図る。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>○コーディネート機能の充実・強化を図る取り組み (委託料) 36,200千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内大学等の優れた研究成果を円滑に県内企業等へ技術移転するため、県内大学等の研究成果と企業とのマッチング等コーディネート活動を通して、技術移転の成功事例輩出に向けた活動を行う。 ・研究シーズ概要のデータベース化 ・コーディネーターの育成・強化 ・県内関係機関の連絡会議・協議会開催 ・コーディネーター間の連携体制構築 ・関係機関等の意識醸成及び社会実装ノウハウの習得のための取り組み 		
※経費内訳はR7年度事業費	<p>☆関係機関の意識醸成・ノウハウ習得</p>		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における新規雇用者数 (+ 3人) ②県内大学からの技術移転件数 (+ 20件) ③コーディネーターの養成人数 (+ 4人) ④企業等とのマッチング件数 (+ 50件) 	関連URL	<p>(交付金の具体的使途・実施体制) (効果検証)</p> <p>https://www.pref.okinawa.lg.jp/kensei/s_hisaku/1014211/1014216/index.html</p>

事業概要【おきなわeスポーツ推進事業】

申請者	沖縄県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	200,000千円 (50,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>新たな観光・MICEコンテンツの創出・定着により観光の高付加価値化・観光収入の増加を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治体、企業、学校等で構成する協議会設置により、県全体でノウハウ蓄積・人材育成を図る。 eスポーツの大会・イベントの誘致と普及拡大を切り口として、幅広い分野での社会課題解決を図る。 国家戦略特区等を活用した規制緩和検討に取り組むことにより、国際大会誘致競争力を強化する。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <p>協議会の運営サポート（委託料） 2,237千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治体、学校法人、企業等のネットワークを構築し、個々の取組事例や本事業の誘致案件の成果・課題等を共有する。 誘致案件の準備・運営への参画等により集客確保・増加を図り新たな大会・イベント誘致につなげる。 企業連携、観光資源等との融合により魅力的なコンテンツ創出に取り組み、各構成員における日常的な事業展開につなげる。 <p>誘致活動、開催支援（委託料） 39,085千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 集客予測困難、県外調達による主催コスト増等、開催決定の障壁を取り除くため、運営費の一部支援により大会を誘致する。 <p>規制緩和の検討（県による直接実施）</p>					<p>eスポーツを新たな滞在型観光コンテンツに！</p> 	
地域の多様な 主体の参画	<p>自治体、学校法人、企業等が連携し、eスポーツを軸とした異業種連携や新コンテンツ創出、固有の観光資源（歴史的建造物等）でのイベント開催の調整・支援に取り組む。</p>					KPI	<p>①地域における観光消費額(観光収入)(+876億円)</p> <p>②支援イベントにおける集客数(+1万9千人)</p> <p>③協議会への参画会員数(+21者)</p>
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【自動運転技術導入により誰もが安心して住み続けられるしまづくり事業】

申請者	沖縄県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	251,414千円 (117,884千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化・過疎化が進む地域において、高齢者等の移動支援、地域の活動支援を目的とした持続可能な公共交通サービスを“低廉かつシンプル”な自動運転により実現する。 ・自動運転移動サービスの導入により、誰もが安心して住み続けられる環境を整備する。 						
<p>事業概要・主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>“低廉かつシンプル”な自動運転車両・システムの実証実験と、地元自治体と住民によるルールづくり・合意形成のためワークショップの実施に加え、自動運転サービス提供に向け、路面表示や停留所整備等を実施する</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 低廉かつシンプルな自動運転の実証実験 (委託料:78,577千円) 2) 住民参加型のワークショップ(委託料:13,461千円) 3) 事業成立検討(委託料:3,630千円) 4) 路面表示・スマートポール・停留所設置 (工事請負費:22,216千円) 					<p>【新たなモデル】</p> <p>低廉かつシンプルな自動運転技術</p> <p>住民ワークショップ</p> <p>検討委員会</p> <p>自動運転移動サービス導入</p> <p>住み続けられるしまづくり</p>	
地域の多様な主体の参画	<p>令和5年度より「沖縄県自動運転交通サービス社会実装推進プロジェクト検討委員会」を設置するなど、学識経験者、内閣府沖縄総合事務局、沖縄通信事務所、沖縄県警察、多良間村等の協力・参画のもと、中小規模離島のような財政規模の小さい自治体においても提供できる“低廉かつシンプル”な自動運転サービスの実装に向け取り組んでいる。</p>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①人口減少の鈍化 (+0.3%) ②新たな自動運転サービスの利用者数 (23,360人) ③高齢者の外出機会の増加 (+15%)


事業概要【「共同売店」を中心とした地域づくり事業】

申請者	沖縄県					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	70,500千円 (19,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	生活環境の創生
目的・効果	<p>・離島・過疎地域における集落拠点の一つである「共同売店」を地域運営組織として再形成することで、地域課題の解決に向けた官民連携による取組み体制を構築するとともに、住民満足度の高い住みよい地域づくりを推進する。</p>						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 地域集落の拠点の一つである「共同売店」を地域運営組織として再形成し、地域住民を中心とした持続的な課題解決のための取組みを進める。</p> <p>【ソフト事業経費】 モデル地域を選定し、「共同売店」を中心とした地域の将来ビジョンの策定及び将来ビジョン実現に必要な「共同売店」へのITツールの導入や官民連携によるリモート生活相談窓口の体制整備等に係る経費を補助する。 ・将来ビジョンの策定及び体制整備（補助金）19,000千円</p>					 <p>※沖縄コンベンションビューローHPより抜粋</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>地域づくりの学識者の助言を受け将来ビジョン、持続的な活動体制構築に取り組むとともに、共同売店の経営力強化のため、情報通信業者等の技術的助言を受ける。自治会と連携し、実践モデル段階での住民意見を吸い上げ、将来ビジョンの見直しにフィードバックする。将来ビジョン策定及び持続的な活動体制の構築支援、人材の確保等に係る助言とともに、市町村においては自走化へ向けた官民連携体制を構築する。</p>					KPI (★は必須KPI)	<p>★①支援地区の住民流出者数（±0人） ②将来ビジョンを策定した地域（+4地域） ③地域運営組織を形成した地域（+4地域） ④シンポジウムの参加者数（+150人） ⑤地域運営組織の活動に対する住民満足度（+80%）</p>
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【ネイチャーポジティブに資する世界遺産道路空間整備事業】

申請者	沖縄県					初回採択回	令和7年度第2回募集	
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	200,000千円 (13,000千円)	
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	✓	事業分野	地方経済の創生
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・絶滅危惧種をはじめとした野生生物のロードキルを防止し、生物にふさわしい環境となる社会資本整備を行うことで、沖縄特有の貴重な生物を保護し、沖縄島北部等の世界自然遺産としての付加価値向上を図る。 ・野生動物の交通事故発生状況をモニタリングし要因を分析、適切な保安全管理にむけた対策を行うことで、観光客をはじめとした道路利用者による自然環境への負荷を低減する。 							
<p>事業概要・主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>【事業概要】 沖縄島北部等の世界自然遺産地域において、絶滅危惧種をはじめとした野生生物のロードキルを防止するため、道路施設の整備（路面標示、防草対策、片側勾配側溝等）と、野生生物の保護に関する広報活動、ロードキル発生状況のモニタリング等のソフト事業を組み合わせ、持続可能な自然環境保全と観光振興の両立を目指す。</p> <p>【ソフト事業経費】 13,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○野生生物の保護に関する広報活動 ・保護活動に関する説明会 ・保護柵の補修、除草を組み合わせたモニターツアー等の実施 ・野生動物の確認等のためのモニタリングの実施 <p>【インフラ整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道路施設の整備によるロードキル防止対策 ・路面標示、防草対策等による道路視認性の確保 ・片側勾配側溝による小動物の路上侵入抑制 ○注意喚起による啓発活動 ・喚起標識、路面標示の整備 					 <p>路面表示 とび出し注意</p> <p>北部国道事務所R5.3.8 記者発表資料より</p>		
地域の多様な主体の参画	<p>既存組織の「やんばる地域ロードキル発生防止に関する連絡会議」等により検証を行い、見直しを行う。同会議等で関係機関（環境省及び沖縄総合事務局）、NPO法人や地元住民に対して中間報告会を開催し、調査結果の概要、分析結果、今後の課題などを報告する。参加者からの意見や質問を聞き取り、調査計画に反映させる。</p>					<p>KPI (★は必須KPI)</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>★①沖縄県における観光収入 (+2,180億円)</p> <p>②野生生物【ヤンバルクイナ、イリオモテヤマネコ】の事故件数の減少させる。 (-3匹)</p>	

事業概要【南城市まちづくり交流拠点施設整備事業】

申請者	沖縄県南城市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	2,000,000千円 (88,000千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> • 学びの拠点（本を買う・借りる・閲覧できる）を公民連携で整備し新たな体験を提供することで生産年齢人口の増加を図る。 • こどもの遊び場を整備し、子どもの健全な成長と子育て世代の交流・相談の場を整備し若年女性の増加を図る。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 子どもから高齢者までの多世代がより良く生きるための知恵と健康を共に育み、共に育つため、多世代の活動が交わり合う豊かな「共育空間」を整備し、そこで教育・健康増進の支援を行い誰もが健康で幸福に過ごすことができる社会の実現を図る「学びの拠点」「健康の拠点」を備えた拠点整備を行う。長く続く運営期間を重視し、運営事業者を先に選定する事業パートナー方式にて、事業の構想から設計、建設、運営までを共にデザインしていくことで持続可能なサービス提供を目指す。</p> <p>【拠点整備事業経費】 ○まちづくり交流拠点施設基本・実施設計 ・設計費 88,000千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>市民グループとの連携やボランティア育成を推進してイベント企画や日常的な活動に市民の力を取り込むことで、地域全体で共に学び共に育む運営体制を構築していく。</p> <p>施設運営でボランティアなど市民サポーターと積極的に協働していく。本施設を、地域の学校のように全ての市民が生涯にわたり文化活動や運動を楽しみ、学習を通じて地域への愛着を深めていく場所としていく。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の人口・世帯数（+1320人） ②合計特殊出生率（+0.07%） ③施設利用者数（+100,000人） ④こどもの遊び場利用者数（+45,000人）
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【南城市農畜水産物利用促進拠点整備】

※民間事業者の施設整備に対する間接補助

申請者	沖縄県南城市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	2,050,577千円 (23,525千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	地方経済の創生
目的・効果	<p>高品質食材の生産・販売、滞在型観光との連携、居住環境の整備により、農畜水産物の価値を向上し、人材を引き寄せ、地域産業を元気にする。ファーマーズマーケット（商業）、ワーカーズハウス（住まい）、レジデンシャルホテル（滞在）の複合機能により市民、生産者、観光客、訪問客の交流を生み出す。農畜水産業体験を通じたライフスタイルを通して観光客が次第に長期滞在者や移住者へと変わるきっかけをつくり、定住促進を図る。</p>						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 ファーマーズマーケット、専門店街、食材研究所、及び第一次産業従事関係者を対象としたワーカーズハウス、レジデンシャルホテルの整備</p> <p>【ソフト事業経費】 農畜水産物利用促進拠点整備におけるコンテンツ開発、事業関係者関係構築、事業PR業務等を実施する。 ・事業誘導業務 16,859千円</p> <p>【拠点整備事業経費】 ・基本設計 6,666千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>南城市、商工会との協力により、商工事業者と本事業の展開するコンテンツについて情報共有、イベント等の協力体制を構築する。 市民グループとの連携、イベント企画や日常的な活動に市民の力を取り込むことで、普段の生活の一部としての居場所を形成し、観光客との交流を通じて、地域コミュニティの良さを体験してもらうことでお試し居住を促し、移住者を増やすことにつなげる。</p>					<p>KPI (★は必須KPI)</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>★①本事業参画生産者数 (+200生産者) ②ファーマーズマーケット運営に関わる従業員数 (+40名) ③ワーカーズハウスの入居者数 (+30室) ④集客数 (+60万人) ⑤入域観光客数 (+70万人)</p>

事業概要【生涯学習・文化振興拠点施設整備事業】

申請者	沖縄県八重瀬町				初回採択回	令和7年度第2回募集	
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,554,898千円 (15,000千円)	
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	生活環境の創生

目的・効果

- 東風平運動公園内に生涯学習・文化振興拠点施設を整備することで県内ではまだない近代史資料館の整備により観光客の誘致、地域の小・中・高校生への学習コンテンツの追加、また多様な参画を行うことにより町内各地へ経済波及効果をもたらす拠点施設とする。

事業概要・主な経費
※経費内訳はR7年度事業費

【事業概要】
 本事業では、生涯学習機能とともに「近代史資料館」を併設し、沖縄近代史についても学ぶ場を提供します。この複合施設は災害時には避難所としても機能し、安全面でも地域貢献出来ます。また、スポーツを通じた文化交流やスポーツキャンプに伴う、キャンプ地巡りで八重瀬町に来訪する観光客と町民の交流にもつながり観光振興が期待でき、近年で成長し続けているeスポーツを活用した施策により、青少年の健全育成や障がい者のリハビリテーションなど、教育・福祉分野にも活用できることから、地域外からの交流人口の拡大を推進するイベントや大会を誘致する。又、3D映像・VR技術を駆使した修学旅行向けバーチャルツアーなど、多様なコンテンツ提供によって集客力を高めることで、年間35,000人以上の来館者数を見込んでおり、その結果として観光振興や地域経済への波及効果が期待される。

【拠点整備事業経費】
 東風平運動公園内に生涯学習・文化振興拠点施設を整備する。
 ホールに設置するモニター等の諸設備の比較検証を行う。また導入する映像コンテンツの作成やコンテンツの種類、市場のニーズ調査等を行うための委託費
 ・ホール機能等の仕様・機能及び市場のニーズ調査（委託料）15,000千円



地域の多様な主体の参画

八重瀬町物産協会をはじめ、地元企業との連携、町教育委員会とのカリキュラム開発への協力、町内小中学、高校との連携によるコンテンツ作成の協力、町内金融機関との連携により融資サポートの提供や安全な運営へのアドバイス、その他社会福祉協議会、県内旅行者、町民とも意見交換を行っていることで地域と一緒に活性化を図る。

KPI
 (★は必須KPI)
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

- ★①地域の人口の増加 (+332人)
- ②生涯学習・文化振興拠点施設への修学旅行者等を含む町外からの来館者数 (+35,000人)
- ③スポーツ関連イベントへの参加人数 (+1,200人)
- ③3D映像・VRツアー参加人数 (+9,000人)

事業概要【病院送迎バス活用モデル事業利便性向上機能強化事業】

申請者	沖縄県八重瀬町				初回採択回	令和7年度第2回募集	
事業計画期間	R7年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	3,450千円 (3,450千円)	
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	生活環境の創生

目的・効果

- 本事業は、南部徳洲会病院の送迎バスにバスロケーションシステムを導入することで、地域住民、とくに高齢者の外出支援の利便性向上を図るものである。
- リアルタイムでバスの現在地や到着予想時刻を確認できるようにすることで、待ち時間の不安軽減や利用意欲の向上が期待される。また、運行管理の効率化や乗車データの可視化により、今後のサービス改善や利用促進にもつなげることができる。

事業概要・主な経費

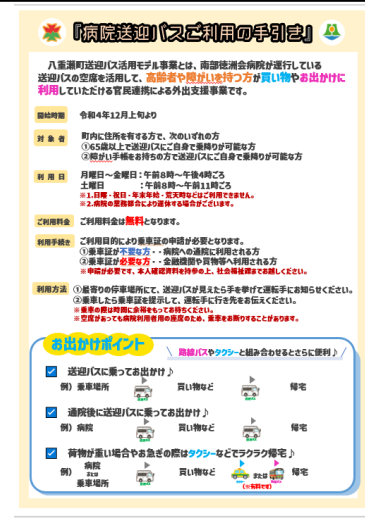
※経費内訳はR7年度事業費

【事業概要】

本事業では、病院送迎バスの空席を活用した外出支援サービスの機能強化を図る。具体的には、スマートフォンやモニターを通じてバスの現在地や到着予想時刻を確認できるバスロケーションシステムを導入し、利用者に安心感と利便性を提供するものである。あわせて、運行管理の効率化を図ることで安全性の向上にも寄与する。また、蓄積されたデータの分析により、サービスの継続的な改善と利用促進を目指す。

【ソフト事業経費】

バスロケーションシステム構築及び導入
 ・システム構築・導入経費（委託料）3,450千円



地域の多様な主体の参画

運行期間中の利用実績のデータや、利用者に対するアンケート調査などを元に、外部委員会において幅広い視点から議論・検証を行い、事業内容への反映に取り組む。
 （※八重瀬町、南部徳洲会病院、社会福祉協議会、自治会長等）

KPI

（★は必須KPI）

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

- ★①病院送迎バス活用モデル事業の乗車数（+1,118人）
- ②バスロケーションシステムの利用率（+50%）
- ③利用者満足度（+80%）